

岐阜市における教職員の働き方改革の取り組み

— 16日間連続の学校閉庁について —

岐阜市 教職員サポートプラン
人的配置、物的環境整備、事業見直し等
による16項目のサポート体制を構築

中核市教育長会 会長
岐阜市教育委員会 教育長
早川 三根 夫

1. 岐阜市における夏季休業中の学校閉庁期間

- ・実施期間：平成30年8月4日（土）～8月19日（日）※16日間連続

2. 連続閉庁を実施するにあたり市教委のサポート体制

- ・閉庁期間中の学校は留守番電話設定とし、市教委が24時間緊急電話で対応
- ・会議、研修、補充学習、部活動指導等の通常業務を原則行わない
- ・事前に想定される対応策をFAQにし、学校及び自治会、学校運営協議会等関係者に周知

【表1】閉庁期間中の緊急電話の内容と件数内訳

生徒指導上の報告	2
軽度の事故報告	2
保護者による相談・報告	12
地域関係者による問い合わせ	5

3. 実施後のアンケート結果

- ・調査対象 教職員1,905名、保護者207名、地域関係者68名（総計2,180名）

(1) 教職員の休暇等取得実態

勤務日10日間のうち、全く出勤しなかった教職員 **942名**（49.5%）

一度でも出勤をした教職員 **963名**（50.5%）

○休暇取得日数

・夏季休暇（4日付与） 一人あたり **3.85日**（完全取得率94.2%）

・年次休暇 一人あたり **3.64日**

・土曜授業の振替休暇等 一人あたり **1.22日**

計 **8.71日**

○教育公務員特例法第22条2項による研修取得者 **77名**

(2) 休暇の主な活用内容

【表2】 (複数選択可)

内容	活用内訳
休 養	77.9%
家族とのふれあい	50.0%
趣 味	39.1%
国内旅行	39.0%
自己研鑽	20.9%
海外旅行(※)	8.2%
家 事	7.4%

◆その他の休暇活用内容…人間ドック、免許更新講習、家族の介護、教員採用試験の勉強、帰省、地域行事、授業準備、指導案作成、任意団体の作業等
 ※本年度渡航者数…183名(前年度170名)

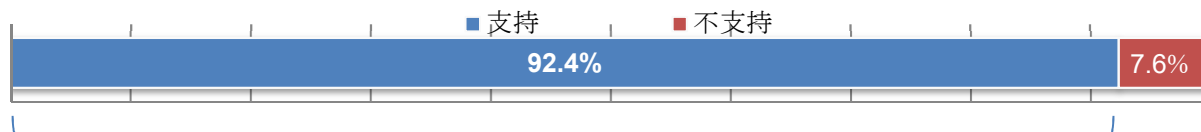
(3) 閉庁期間中の主な来校理由

【表3】 (複数選択可)

内容	対応者率
動植物の世話	20.9%
郵便確認	14.9%
校舎見回り	14.3%
地域行事	9.8%
部 活 動	7.7%
緊急時対応	3.2%
業者対応	2.9%

◆その他の来校理由…給与・旅費業務、初任者研修準備(※)、学校備品の貸し出し、保護者懇談、コンクール出品準備、ボランティア日直、転出児童面談、夏季ゼミ参加、採用試験練習、サーバー対応等
 ※閉庁期間に初任者研修に73名が参加。来年度は期間外に設定予定

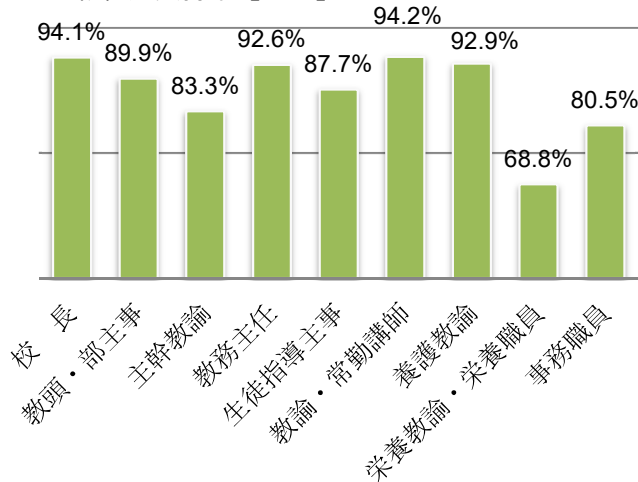
(4) 連続学校閉庁日に対する教職員の支持率【図1】



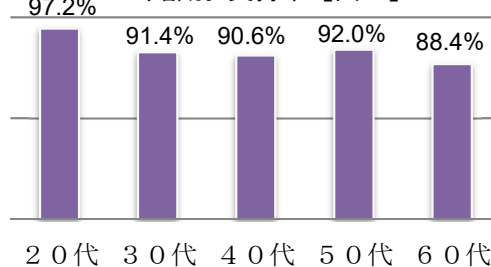
全教職員の92.4%が支持

※女性93.3%、男性92.7%

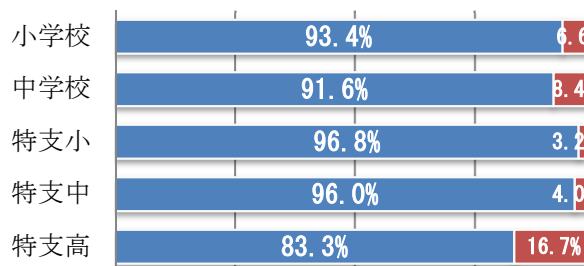
職種別支持率【図2】



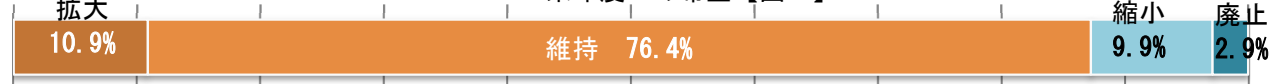
年齢別支持率【図3】



校種別支持率【図4】



来年度への希望【図5】



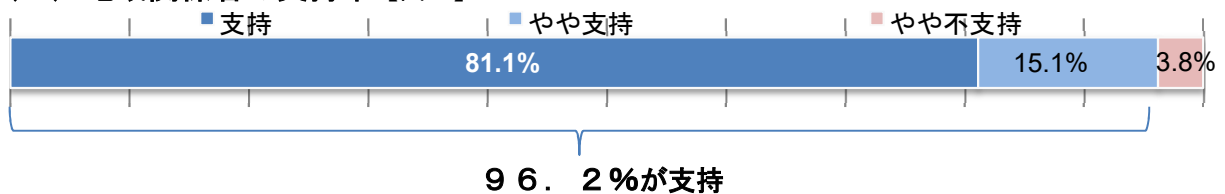
教職員の支持意見から

- ・気兼ねなく年休をとることができた
- ・心身ともにリフレッシュすることができた
- ・日直がなくなるのは職員の少ない小さな学校では大いに効果がある
- ・仕事のオンとオフをはっきり決めることでやるべきことが精選された
- ・必要に応じたタイムマネジメントができた
- ・タイマー式散水機を導入し、職員が世話をしなくても育てることができた
- ・勤務時も雑音がなく、仕事に集中することができた
- ・この時期に合わせて、家族の入院と手術を行うことができた

教職員の不支持意見から

- ・期間前後に多忙感がある。業務が集中した
- ・旅行閑散期に旅行を計画できない状況が生じた
- ・業者の納品対応等で休めなかった（トイレや外壁落下防止工事の計12件は工事業者のみで実施したが、体育館工事見積調査8校は教職員が立ち会った）
- ・秋に向けて部活の練習ができなかった
- ・「教員は楽をしている」と言われた
- ・高校見学会に対応しなければならない

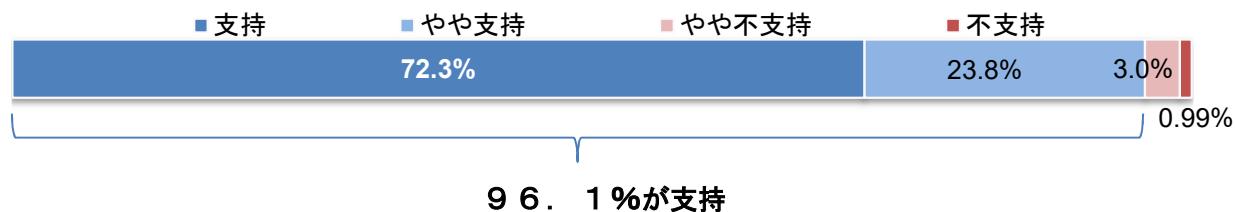
(5) 地域関係者の支持率【図6】



地域関係者の記述意見

- ・先生が元気でない子どもは元気にならない
- ・一斉に休みをとることはとてもいいこと
- ・これを機にともに地域の宝を育てる機運を高めていきたい
- ・警報発表時の対応は考えてほしい
- ・内容をさらに周知徹底して、混乱を防いでほしい
- ・普段の連携を深められるとよい
- ・行事のある時の協力をしっかりしてほしい
- ・住民の理解を深めてほしい
- ・これを機にいつも開いているイメージを変えていく
- ・災害時に避難所として機能できるのか心配だ
- ・地域の交番勤務警察官が定期的にパトロールし、郵便ポストにパトロール結果をカードに記入し投函してくれた
- ・地域関係者によるパトロールのための日誌を回して、当番制で順番に学校を見守ってくれた

(6) 保護者の支持率【図7】



保護者の記述意見

- ・ 閉庁日の地域行事にも先生が積極的に参加していただけた
- ・ 学校と連絡が取れないのが不安
- ・ P T A行事がこの時期にできない
- ・ 花壇や畑の雑草が気になった
- ・ 問い合わせが先延ばしになった
- ・ なんでも学校へという考えを変えていきたい
- ・ 保護者クラブへ部室の鍵を貸してほしい
- ・ 部活ができないのが不満であり、保護者クラブも組織していない
- ・ 8月はほとんど部活がない
- ・ 休みが長すぎて運動しなかった